

「こじゃんと1号・2号」

仕掛け改良

1号(小型囲いわな)



2号(大型囲いわな)



四国森林管理局
森林技術・支援センター

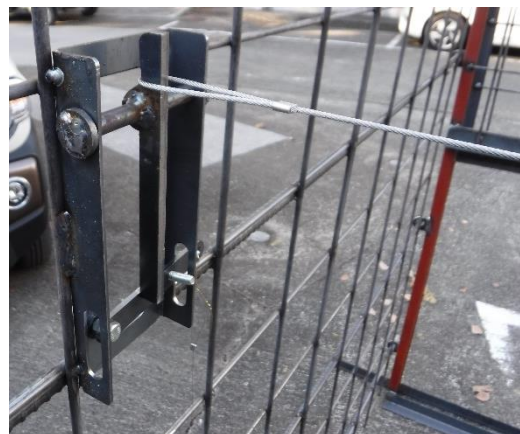


令和7年2月作成

仕掛けの改良（1号・2号共通）

これまでの仕掛けは、ネズミ捕りのバネを利用した方法でしたが、写真のとおり、トリガー部分を本体に最初から取り付けていますので、落とし扉を固定するワイヤーとケリ系のみを取り付けるだけで仕掛けの設置が可能であり、設置作業が安全で簡単になりました。

トリガーを後付けのネズミ捕り式タイプから変更



扉固定ワイヤーはUボルトを經由しトリガーへ



ケリ系の緊張を調整するための工夫



セッティング（1号・2号共通）

- (1) 写真①のとおり、落とし扉と固定トリガーをワイヤーで固定する。
- (2) その時、写真②のストッパーボルトは取り付けておく。
- (3) ケリ糸は写真③のトリガーから写真④のケリ糸調整ボルトと連結させる。
- (4) ケリ糸の緊張の調整は写真④のナットを回すことで調整できる。
- (5) 罨の作動は、落とし扉の固定を解除しワイヤーに扉の重量をかけ、写真②のストッパーボルトを引き抜く。抜くときはストッパーを押さえながら引き抜くと安全。
- (6) ストッパーのボルトの紛失防止のためにボルトに針金等を取り付け、ストッパーを外した後は本体に引っかけておく。
- (7) 仕掛け設置時は落とし扉が落下しないよう、扉のストッパーはあるが、念のために木の枝等を差し込むなど、落とし扉を固定しておく

